

クララの室内楽



絵：三村晴子

女性作曲家にスポットを当てるシリーズ第1回

「シューマンとクララ、 シューマン家の音楽会」

ゲスト/ 西原稔 (音楽学者)



＝演奏曲目＝

ロベルト・シューマンの主題による変奏曲 Op.20	(クララ・シューマン)
おとぎの絵本 Op.113	(シューマン)
アダージオとアレグロ Op.70	(シューマン)
ヴァイオリンソナタ第1番 op.105	(シューマン)
ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47	(シューマン)

2015年 4月 26日(日)

開場 / 14:30 開演 / 15:00

料金 / 一般 4,000円 学生 3,000円 1ドリンク付

会場 / 十字屋ホール (中央区銀座 3-5-4 十字屋ビル 9F)

共催 / 十字屋ホール、スタジオ・フリーデル
☎03-3561-5250 ☎03-5700-4055

後援 / 日本ブラームス協会

協力 / (株) インターミュージック・トーキョウ



ロマン派の大作曲家ロベルト・シューマンとピアノ奏者・作曲家であったクララは、夫唱婦随の音楽夫婦でした。子煩悩な夫と、愛すべき子供たち・音楽に囲まれてきた夫婦も、夫ロベルトの死によって別れが訪れます。ドイツ屈指のピアノ奏者、そして当時としては珍しい女性作曲家として、クララは悲しみのどん底から動き出します。クララを目指してきた八十嶋洋子はそんなクララに倣い、亡き夫の遺志の継承と新たに歩む音楽の道標として、室内楽の素晴らしさ、女性ならではの繊細な視点、至近演奏の臨場感など、室内楽のもつ醍醐味をシリーズ全8回で展開して参ります。(十字屋ホール)

西原 稔 (音楽学者)



シューマンの作品が他の作曲家と異なるのは、彼の音楽は全て身近な人が、創作の背景となっている事です。そして、その中心は妻クララでした。シューマン家ではよく家庭音楽会が、催されました。今日は、その雰囲気演奏とお話で楽しんで頂きます。(西原稔)

山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士課程満期修了。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。18,19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」(音楽の友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「楽聖ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「クラシック名曲を生んだ恋物語」(講談社)、「音楽史ほんとうの話」(プラムス) (音楽の友社)、「クラシックでわかる世界史」(アルテスパブリッシング)、「ピアノ大陸ヨーロッパ」(アルテスパブリッシング)、「世界史でたどる名作オペラ」(東京堂)などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」(東京書籍)、翻訳で「魔笛とウィーン」(平凡社)、監訳・共訳で「ルル」、「金色のソナタ」(音楽の友社)「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」(以上、平凡社)などがある。「シューマン全ピアノ作品の研究」(音楽之友社)は、2014年第26回ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞する。

上野明子 (ヴァイオリン)



米国ヒューストン生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。

スペイン在住中、バルセロナでコンサートを開催。

帰国後、第4回横浜国際音楽コンクール第1位併せてグランプリ受賞、第65回全日本学生音楽コンクール全国大会第2位、第15回日本演奏家コンクール第1位。2012年桐朋学園高校卒業演奏会に出演。これまでに鈴木愛子、Eva Graubínの各氏に師事。

現在、ヴァイオリンを原田幸一郎、室内楽を毛利伯郎、徳永二男の各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部にて在学中。

田原綾子 (ヴィオラ)



1994年生まれ。5歳よりヴァイオリンを、18歳よりヴィオラの指導を受ける。第11回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞、第9回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽器部門第1位併せて全部門最優秀賞、ルーマニア国立ラジオ局賞を受賞。韓国音楽祭GMMFS2012に奨学生として参加、ライジングスターコンサートに出演。室内楽では、プロジェクトQ第9章・10章、ヴィオラスペース2013、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、ヴィオラマスタークラスin小樽等に参加。第63回JTが育てるアンサンブルシリーズ、大阪フェニックスホール主催による今井信子氏の推薦コンサート、NHKFM「リサイタル・ノヴァ」、NHKBSプレミアム「クラシック倶楽部」等に出演。これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。これまでに藤原浜雄、岡田伸夫、室内楽を原田幸一郎、毛利伯郎、三上桂子の各氏に師事。現在桐朋学園大学音楽学部にて在学中。

上野通明 (チェロ)



5歳よりチェロを始める。幼少期をスペイン、バルセロナで過ごし、数々のコンクールで優勝または入賞。2009年韓国スウォンで開催された第6回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールにて日本人初の優勝。韓国KBSテレビ「クラシックオデッセイ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHKBS「クラシック倶楽部」等に出演。

2010年第6回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽器部門第1位、ルーマニア大使館賞、ルーマニアラジオ文化局賞を併せて受賞。岩谷時子文化振興財団より「第1回Foundation for Youth」受賞。2012年第10回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。2014年第21回ヨハネス・ブラームス国際音楽コンクール第1位。桐朋学園大学音楽学部ソリストディプロマコース特待生。毛利伯郎氏に師事



八十嶋洋子 (ピアノ)

東京藝術大学ピアノ科卒業。旧西ベルリンにてピアノをG・ブッフヘルト、D・ヘクスタ両氏に、室内楽をR・ワインズハイマー氏に師事。在独中ジュネーブ国際コンクール他、多くのコンクールで伴奏ピアニストを務める。ベルリンのロイヤルアカデミーオブダンシングの正式ピアニストとして数々の公演に出演。1982年ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて八十嶋龍三とのデュオでデビューの後、チェロとピアノの作品の研究を続け、ドイツ日本各地で演奏活動を続けた。大学在学中より永年にわたり、日本を代表する作曲家、平井康三郎氏に師事、多くの日本歌曲の初演、ピアノソロでNHK-FMに出演。現在ピアノソロをはじめ、(チェンバロを含む)室内楽奏者、伴奏者として活動の他、国立がん研究センター他での、病院、施設での音楽会企画にも積極的に取り組んでいる。これまでに、久保田裕子、林美奈子、松崎俊三、永井進、田村宏、の各氏に師事。吉祥女子中学高等学校非常勤講師。また、スタジオ・フリーデル、チェロアンサンブルの“ゴージュの会”を引き継ぎ、主宰している。

■ チケットお取扱い

十字屋ホール 03-3561-5250
(電話受付 平日10:00~18:00)
www.ginzajujiya.com

チケットぴあ 0570-02-9999
カンフェティ 0120-240-540

●銀座十字屋ハーブ&フルーツサロン(中央区銀座3-5-4十字屋ビル8階)でもチケットをお取扱いしております
営業時間/平日10:00~21:00 土曜日10:00~19:00 日曜日10:00~18:00 定休日/祝日・GW・年末年始

十字屋ホール

〒104-0061
東京都中央区銀座3-5-4 十字屋ビル9階

- 東京メトロ 銀座駅(A9出口) 徒歩2分
- 東京メトロ 銀座一丁目駅(8出口) 徒歩2分
- 京有楽町線 徒歩5分

